

中国・四国地域における水稻の現状



令和8年7月

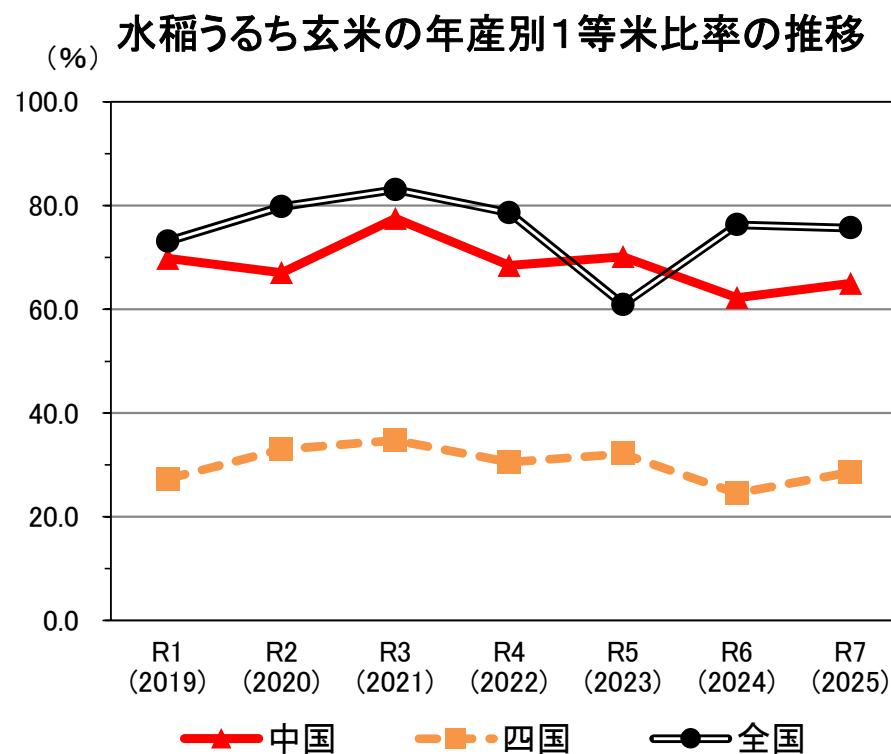
中国四国農政局 生産部 生産振興課

1 生産状況

- 令和7年産の中国・四国地域の水稲作付面積は、約13.9万haで、令和7年産の全国に占める割合は約1割。
地域別には、中国地域が約9.5万ha、四国地域が約4.4万ha。
- 令和7年産の中国・四国地域の水稲収穫量は、約73.1万tで、令和7年産の全国に占める割合は約1割。
地域別には、中国地域が約50.9万t、四国地域が約22.2万t。
- 令和7年産の水稲の作況単収指数は、中国地域は105、四国地域は106であった。
- 令和7年産の水稲うるち玄米の1等比率(令和8年3月31日現在)は、中国地域が65.0%(前年比↑)、四国地域が28.6%(前年比↑)であった。

＜令和7年産＞

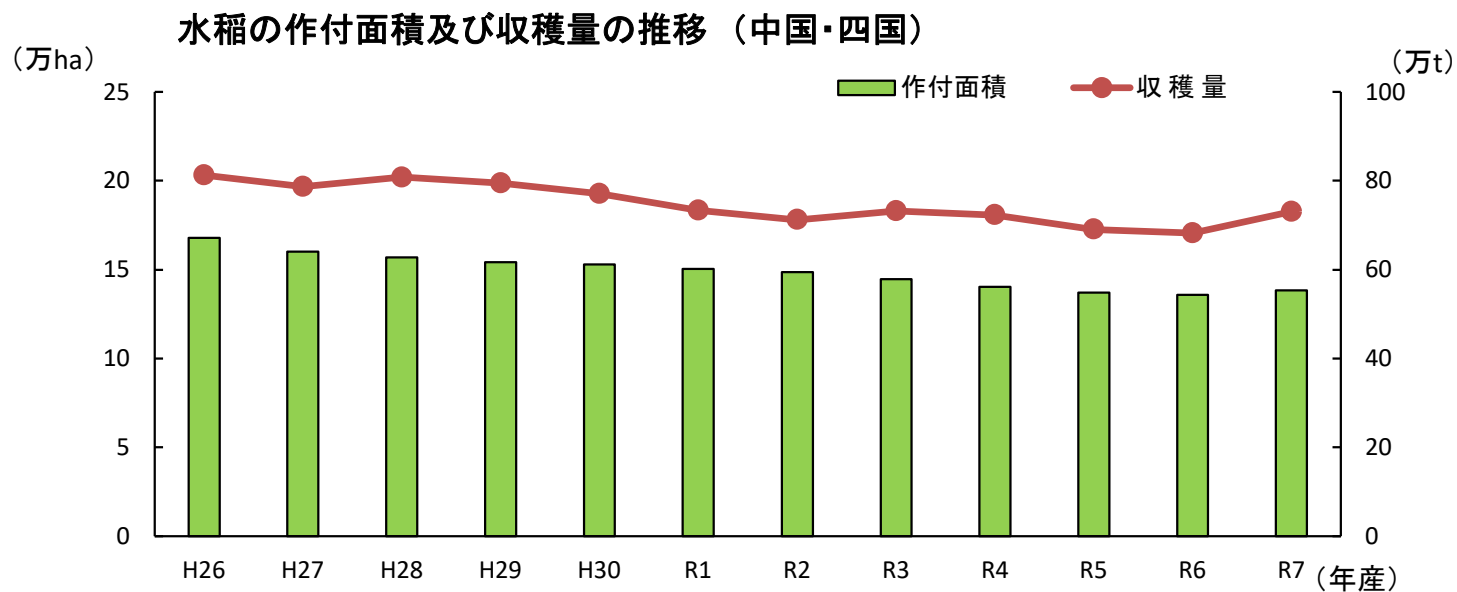
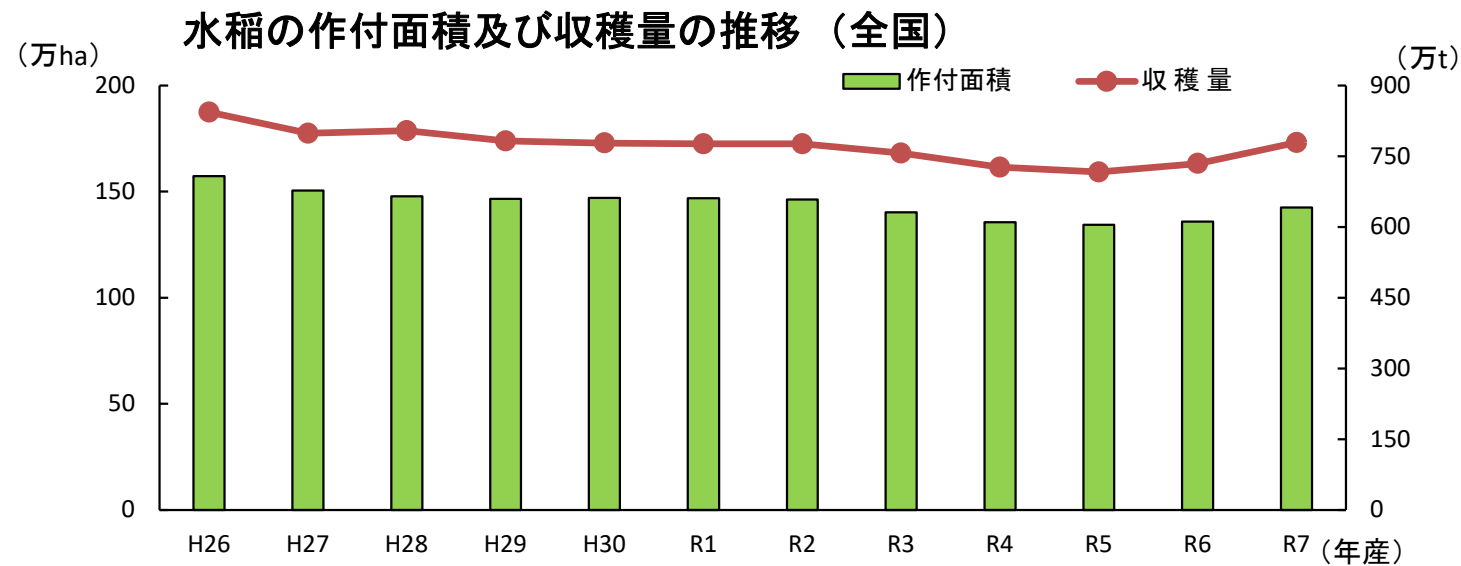
	作付面積 (ha)	10a当たり 収量 (kg)	収穫量 (t)	作況 単収 指数	1等比率 (%)
鳥取県	12,000	533	64,000	106	44.6
島根県	16,200	543	88,000	106	56.4
岡山県	28,600	530	151,600	103	65.8
広島県	20,500	544	111,500	104	74.1
山口県	17,200	547	94,100	107	77.8
中国計	94,700	538	509,200	105	65.0
徳島県	10,300	514	52,900	108	42.3
香川県	10,200	518	52,800	104	14.8
愛媛県	12,800	517	66,200	104	38.7
高知県	10,600	468	49,600	104	15.9
四国計	43,900	505	221,500	106	28.6
中国四国計	138,500	528	730,700	105	55.0
全国計	1,425,000	547	7,790,000	102	75.7



※令和7年産1等比率は、令和8年3月31日時点の速報値

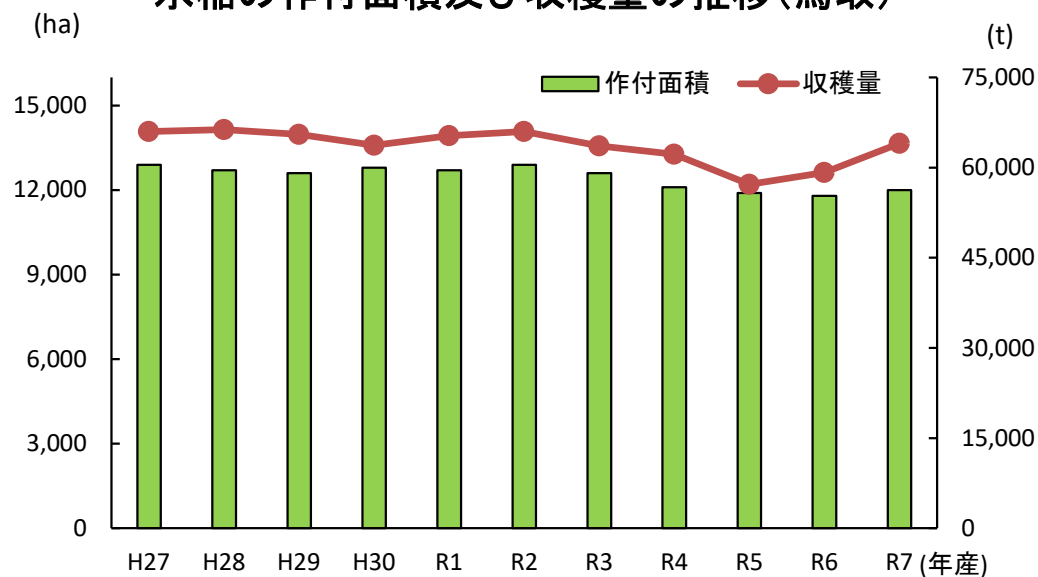
資料:農林水産省統計部「作物統計」(令和8年3月6日公表)及び農産局穀物課「米の農産物検査結果」(令和8年4月30日公表)

2 - 1 水稻の作付面積及び収穫量の推移（全国、中国四国）

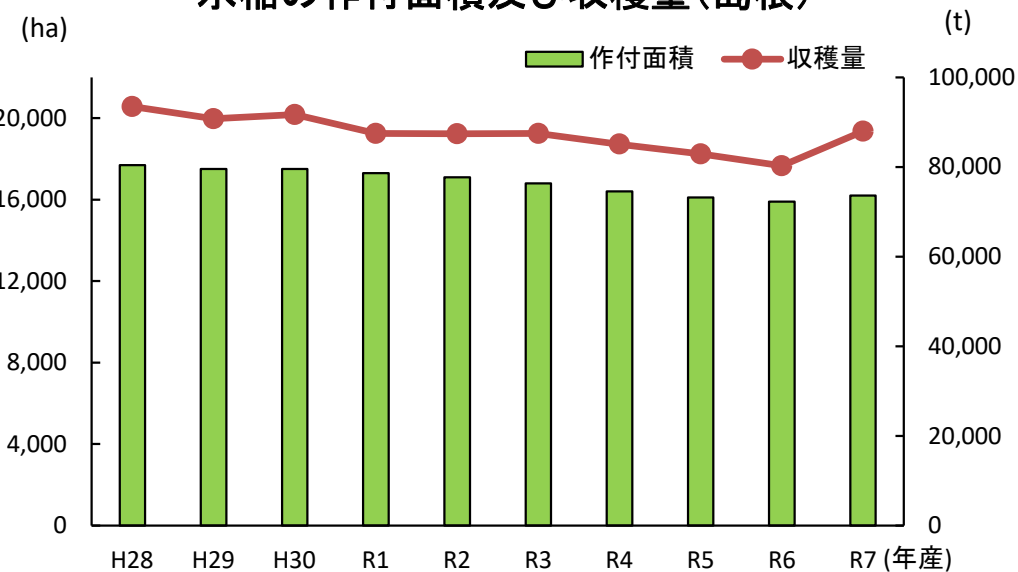


2-2 水稻の作付面積及び収穫量の推移（鳥取県、島根県、岡山県）

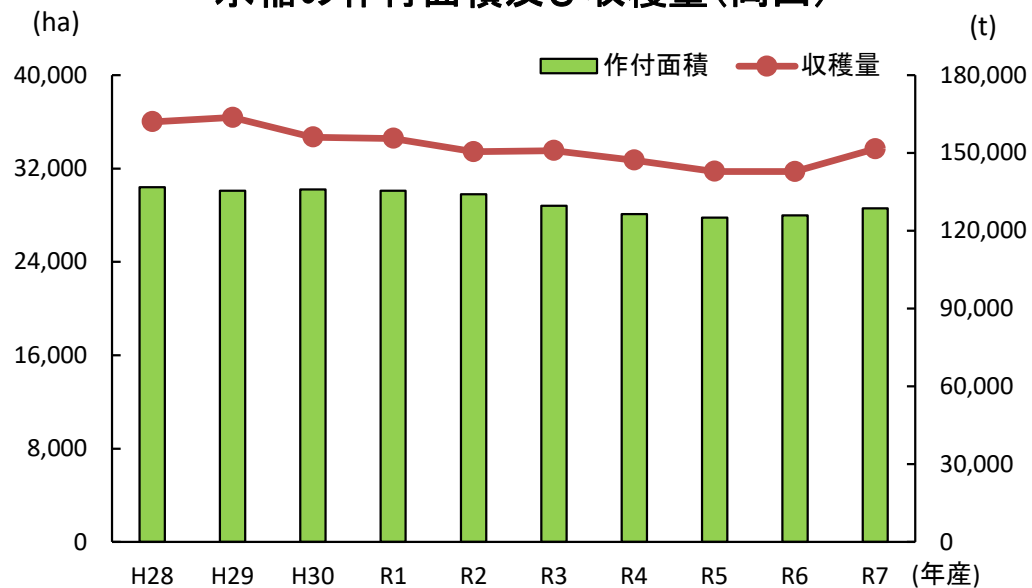
水稻の作付面積及び収穫量の推移（鳥取）



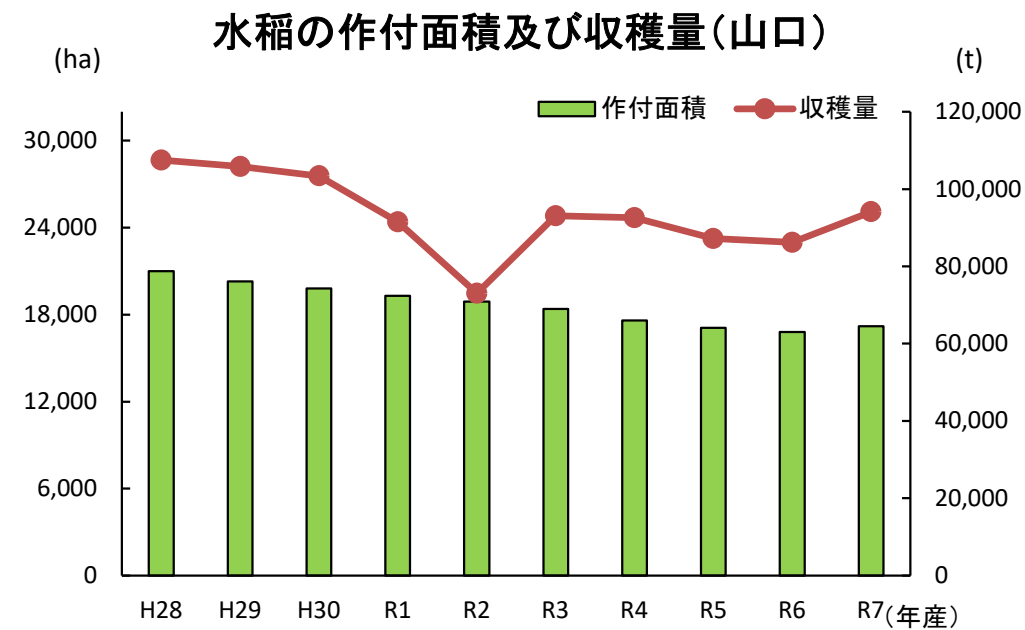
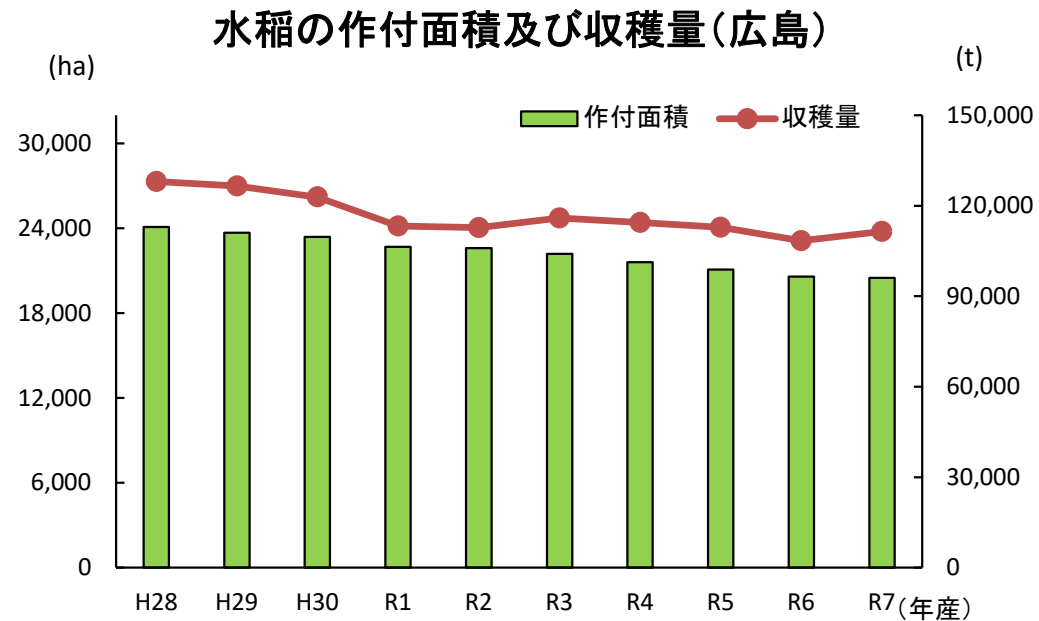
水稻の作付面積及び収穫量の推移（島根）



水稻の作付面積及び収穫量の推移（岡山）

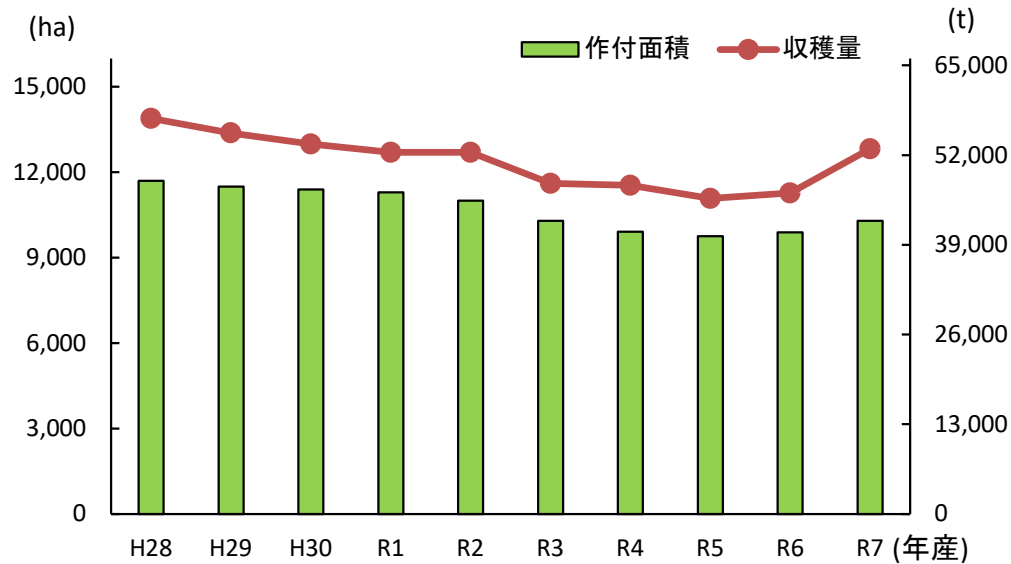


2-3 水稻の作付面積及び収穫量の推移（広島県、山口県）

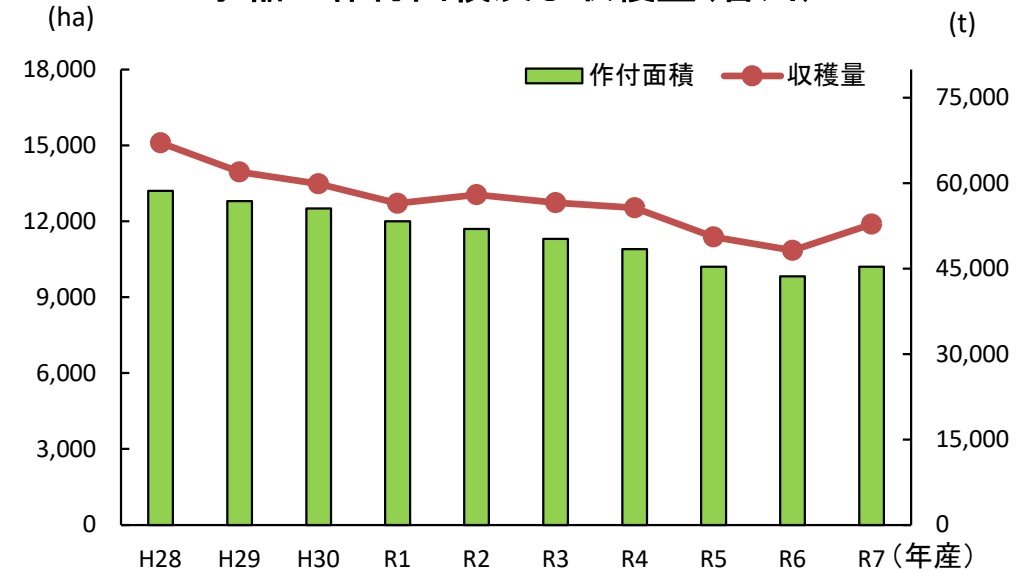


2-4 水稻の作付面積及び収穫量の推移（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

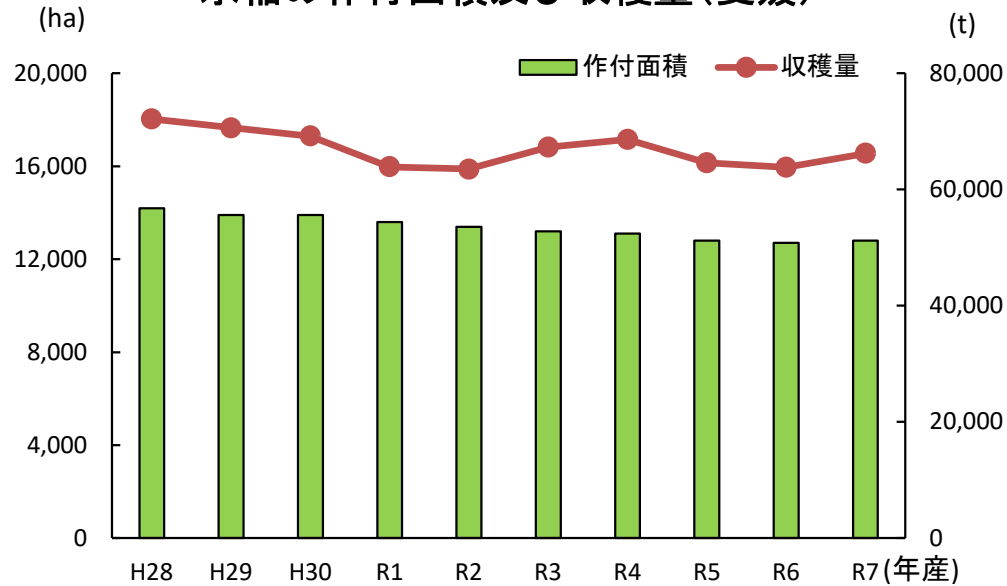
水稻の作付面積及び収穫量（徳島）



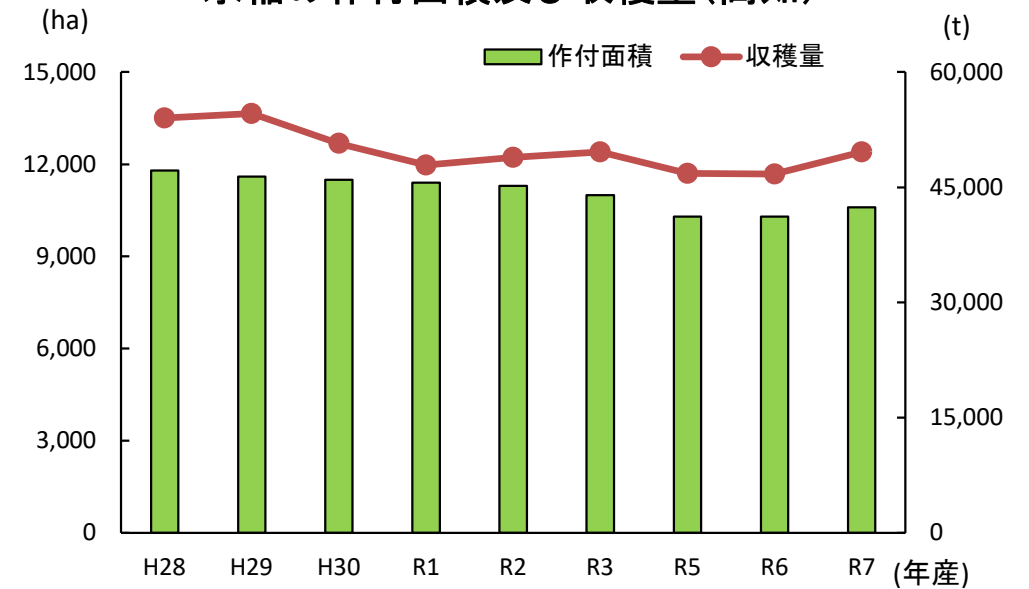
水稻の作付面積及び収穫量（香川）



水稻の作付面積及び収穫量（愛媛）



水稻の作付面積及び収穫量（高知）

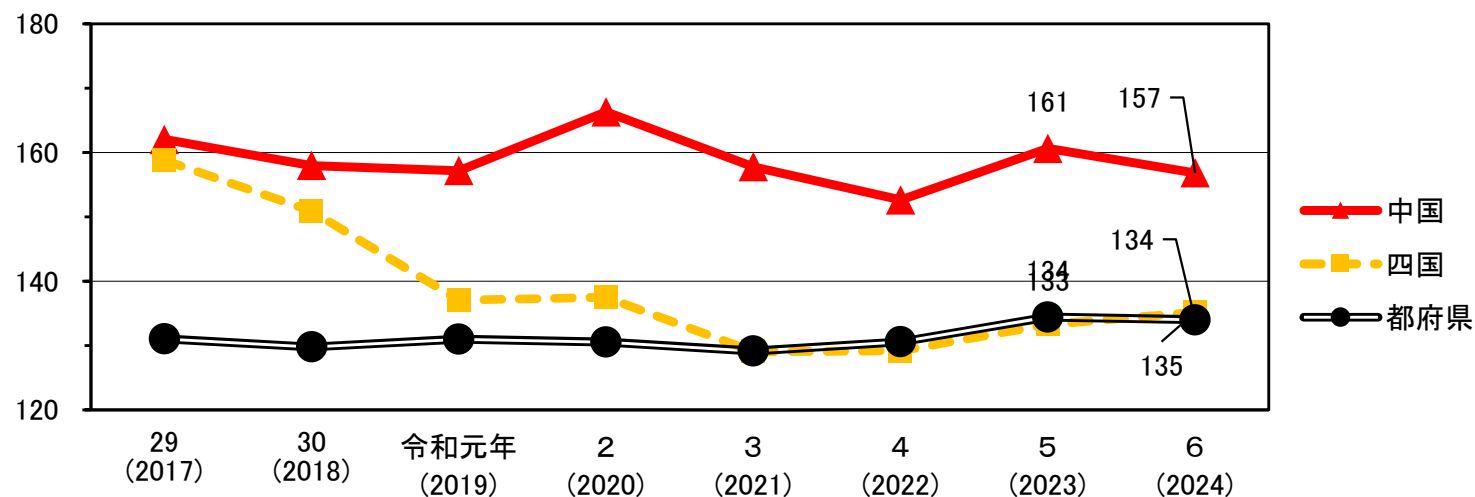


3 生産費及び労働時間

- 令和6年産の中国・四国地域における水稻の10a当たり生産費は、中国地域が156,827円、四国地域が135,159円となっており、中国地域では都府県に比べ約1.2倍高い。内訳をみると、農機具費が1.4倍、労働費が1.3倍高くなっている。
- 令和6年産の中国・四国地域における水稻の10a当たり労働時間は、中国地域が約29時間、四国地域が約25時間と、都府県（約22時間）に比べ、それぞれ1.3倍、1.1倍となっている。

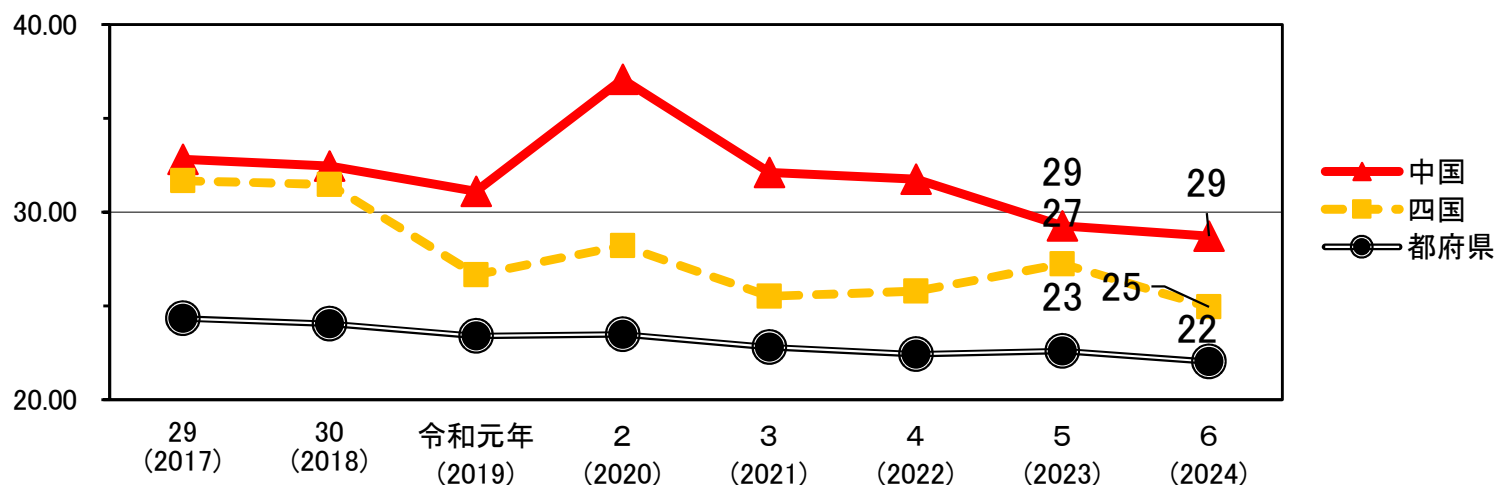
(千円)

10a当たりの生産費の推移



(時間)

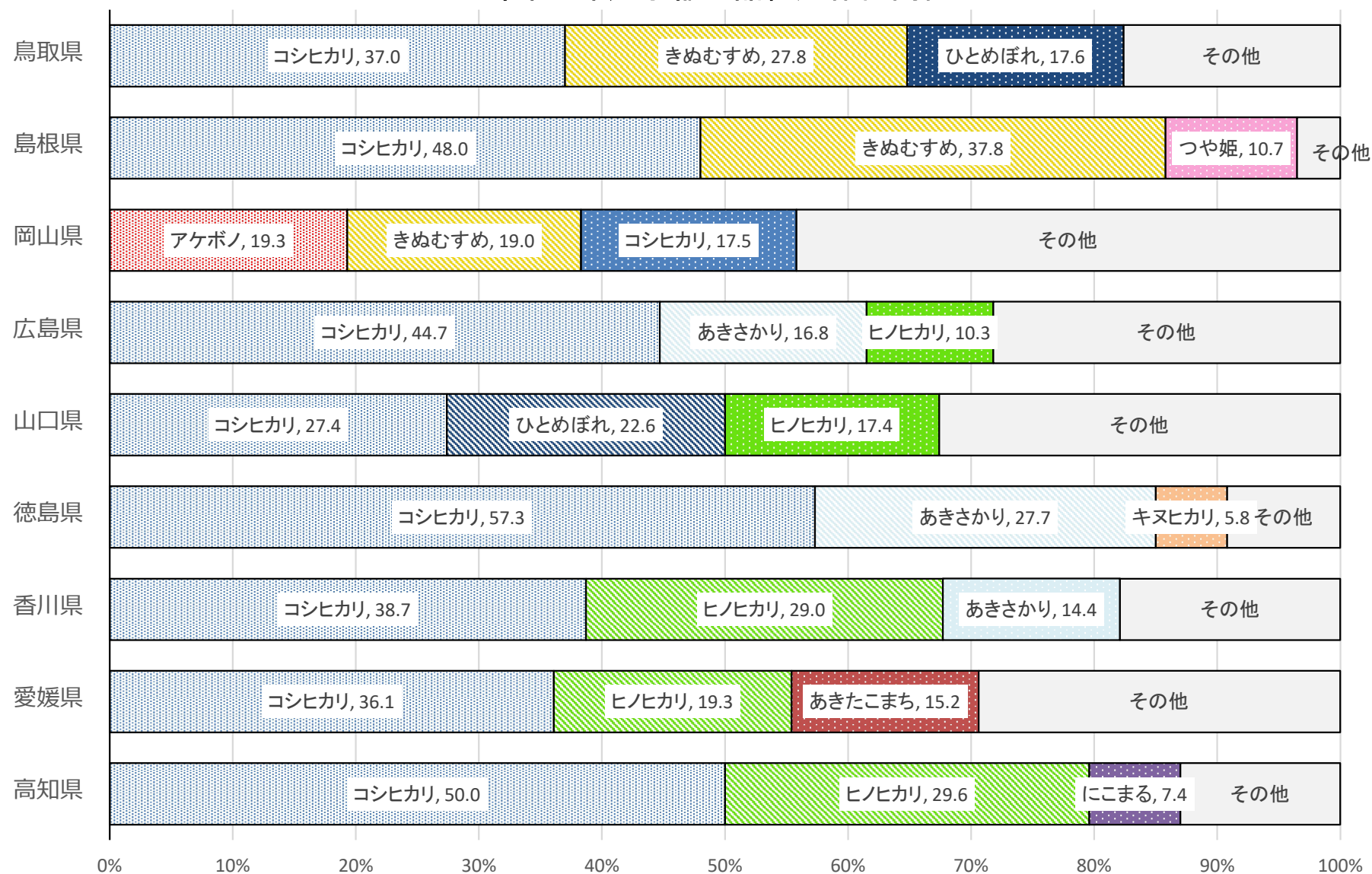
10a当たり労働時間の推移



4 作付品種

- 中国・四国地域では、コシヒカリの作付が中心だが、高温耐性品種「きぬむすめ」、「つや姫」、「にこまる」等の作付も増加している。

令和6年産水稻の品種別作付割合



5 新品種の動向

- 管内では、農研機構が育成した品種の導入に加え、一部では県オリジナルの品種も育成されている。

「恋の予感」(広島県)

- 西日本農業研究センターが育成し、平成28年に品種登録。
- 高温でも白未熟粒の発生が少なく、大粒で良食味・多収、縞葉枯病抵抗性の品種。
- 家庭用が中心で、市販は平成26年から。

「恋の予感」写真:JAグループHP“<https://life.ja-group.jp/food/okome/detail?id=166>”



「おいでまい」(香川県)

- 香川県農業試験場が育成し、平成24年に品種登録。
- 高温耐性品種で、平成25年度から栽培が本格化。日本穀物検定協会が実施する食味ランキングで、特Aランクとしての評価実績がある。

さぬきの農産物応援団HP:“<https://www.pref.kagawa.lg.jp/seiryu/oidemai/>”



「ほしぞらまい 星空舞」(鳥取県)

- 鳥取県農業試験場が開発し、平成30年10月に品種登録出願。令和元年からは、県外での本格販売が開始し、関西の小売店で販売されている。
- ご飯が水分を抱き込む量が多く、冷めても良食味である。

食のみやこ鳥取県HP:“<https://www.pref.tottori.lg.jp/281049.htm>”

登録商標第6182531号
(星空舞)



「ひめの凜」(愛媛県)

- 愛媛県農業試験場が開発し、平成31年1月に品種登録出願。令和元年より一般販売を開始。
- 高温条件下においても乳白色化しにくく、玄米品質は良好であり、炊飯米は極めて食味が良く、香りが良い。

愛媛県HP:“<https://www.pref.ehime.jp/h35500/himenorin/top.html>”

登録商標第6162985号
(ひめの凜)